

# 派遣報告書

平成26年11月19日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会  
(代表) 議員

坂井 徹 (印)

次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1 派遣期間	平成26年11月17日(月)から平成26年11月18日(火)まで
2 派遣先	隠岐海士町観光協会 野球場
3 視察(調査)議員名	坂井 徹
4 面会者	別添3名 と 朝陽職員
5 派遣目的	地方の産業振興策と行政の姿勢について
6 視察の経過及び感想	別添の通り
7 添付書類	(1) _____ (2) _____

要した経費： 1 人合計 29,160 円



1. 地域の生活と活用は産業に力をつけて

背景に超過疎化(7000人→2300人) 超高齢化(高齢率39%)  
財政政策(地方交付金高 13年101.5億円→25年69億円)

財政再建団体 市町村で合併はいつ 単独をとり残しを行政の  
基軸と人口政策に思えば 皆々幸せにしたいという理念のもと地域を  
はたかき若くして之 取組の意識改革が地域を愛するといふ首長以下  
の言動と実践に利今や全国で最も注目される自治体のひとつに成っている。

1次産業の再興で産業の創出、雇用場の用意、外貨獲得の様々の  
取組の姿勢を貫き、島民にもブランド化を目指し 車庫に認められたブランド  
化への意識と行政、島民が共有し 若者の優秀なIT-2者や地元民が  
専断 刺激し合いつつ 新商品作りの課題をあげて

(例、まごころ 岩崎春香、沼田白ゆかり漬、陰坂牛、フレンド等々)

2. 中4次海地総合振興計画にかいて

2010年にグッドネガティブ賞と授賞した「島の幸福論」は 前エッセイ  
語らせた中で 自立、挑戦、交流 の各層を創るものと他方の元気が  
国の元気の理念に基づき 自ら切り拓くという取組と住民の高志  
と郷土の気概に満ちあふれている 自治体規模の大小にかかわらず  
この中で首長の意識と現場主義に徹した言行一致のリーダーシップ  
が新人と毎朝の生活と強く感じています。